

解体工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 向陽の里新棟/建設工事
 2 工事場所 宮崎県東諸県郡高千本1407番地
 3 敷地面積 360,622.52 m²
 4 主要用途 知的障害者支援施設
 5 解体建物概要(棟毎に記載)

建物名称	構造	階数	延床面積 (m ²)	延面積 (m ²)	備考
解体建物1(倉庫)	S造	1	313.24	298.48	
解体建物2(倉庫)	CB造	1	9.54	9.54	
解体建物3(倉庫)	CB造	1	8.98	8.98	
解体建物4(倉庫)	CB造	1	4.21	4.21	

※その他上記建物に付帯する外構解体1式を含む。

II 解体工事仕様

1 共通仕様
 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁官庁建設部監修「建築物解体工事共通仕様書-同解説(平成24年版)」(以下「共通」という。)による。
 なお共通(8.1.2)における「アスベストを重量で1%を超えて含有する」との記載については、「アスベストを重量で0.1%を超えて含有する」と読み替えるものとする。

2 特記仕様
 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
 (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、共仕の該当項目、該当箇条、該当表を示す。

章	項目	特記事項																								
① 一般共通事項	① 適用基準等	※ 工事写真の撮り方(改訂第2版) 国土交通省大臣官房官庁官庁建設部監修 建築編																								
	② 工事実績情報の登録(工事カルテ)	※ 適用する ・ 適用しない (共1.1.4)																								
	3 電気保安技術者	・ 適用する ・ 適用しない (共1.3.3)																								
	④ 技能士	※ とび ・ 1棟の延床面積が1000㎡を超える建築物は原則として1級技能士 ○ 1棟の延床面積が1000㎡以下の建築物は原則として1級又は2級技能士																								
	⑤ 条件明示項目	共仕1.3.5(a)~(b)以外の施工条件 ○ 図示 ○ 現場説明書による (共1.3.5)																								
	⑥ 施工中の安全確保及び環境保全	※ 「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(建設省告示第1536号)に基づき、指定された建設機械を使用する。 ※ 「排ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機械を使用する。 (対象機種:バックホウ、ブルドーザ、トラクターショベル(車輪式)、空気圧縮機(可搬式)、油圧ユニット(油圧ハイドラースタック油圧式潤滑圧入引抜機・油圧式圧入引抜機・アーススター・オートケーン)・掘削機・リフト・ホイールリフト・スリッパ・地下埋設物掘削機・全回転型ホイール・バック掘削機・基礎工事用掘削機のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン・駆動の油圧ユニットを搭載しているもの)、ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー、ホイールクレーン。但し、ディーゼルエンジン) ※ 工事着手前に近隣住民等へ周知すると共に、必要に応じて近隣建物及び付帯施設の状況を写真撮影するなど事前調査を行うこと。また、工事の施工により近隣建物及び付帯施設に損傷を与えた時は、現状に復旧すること。																								
⑦ 工事写真		※ 下記のものを監督職員に提出する。但し、ネガフィルム等は除く。 (共1.2.3) 撮影箇所及び方法については、「工事写真の撮り方(改訂第2版)建築編」及び監督職員の指示による。なお、写真提出はカメラ(フィルム)又はデジタルカメラとする。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類・規格</th> <th>提出部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前</td> <td>※ カラー</td> <td>※ 1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ サービスサイズ ()</td> <td>・ (部)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工事中</td> <td>※ カラー (※ サービスサイズ)</td> <td>※ 1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ サービスサイズ ()</td> <td>・ (部)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>※ カラー</td> <td>※ 1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ サービスサイズ ()</td> <td>・ (部)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	分類・規格	提出部数	備考	着工前	※ カラー	※ 1部		※ サービスサイズ ()	・ (部)		工事中	※ カラー (※ サービスサイズ)	※ 1部		※ サービスサイズ ()	・ (部)		完成時	※ カラー	※ 1部		※ サービスサイズ ()	・ (部)
区分	分類・規格	提出部数	備考																							
着工前	※ カラー	※ 1部																								
	※ サービスサイズ ()	・ (部)																								
工事中	※ カラー (※ サービスサイズ)	※ 1部																								
	※ サービスサイズ ()	・ (部)																								
完成時	※ カラー	※ 1部																								
	※ サービスサイズ ()	・ (部)																								
8 完成図等		・ 作成する (共1.2.3) (※ 原図訂正の上、跡画複写図2つ折り製本 ※ 1部 (部)) (・ 修正CADデータ ※ 2部 (部)) 建設副産物実態調査に関する計画書 ※ 電子データにより、監督職員に提出する ・ 紙面により、監督職員に提出する																								

② 仮設工事

① 仮囲い (共2.3.1)
 ・ 設けない

2 防音、防護対策

③ 監督員事務所 (共2.3.1)
 ・ 設ける (共2.3.1)
 規模 ・ () m²程度
 仕上げ 監督職員の指示による。
 備品 ※ 机 ※ イス ・ 長靴 ・ かっぱ ・ 保安帽 ・ 懐中電灯
 ・ () ・ ()
 ○ 設けない(但し、請負者事務所に打合せスペースを確保すること)

④ 工事用水、電力、その他

⑤ 手すり先行足場 (共2.3.1)
 ※ 適用する (共2.3.1)
 特記仕様を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成15年4月策定)により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による「働きやすい安心感のある足場」とし、二段手すり及び幅木の機能を有するものとする。
 ・ 適用しない

③ 解体施工

① 解体方法
 解体工法は、低振動、低騒音型の機械器具等を選定し、防音シートや散水等により騒音、振動の減少、粉塵の防止に努めた工法とする。
 解体方法及び手順は、「共仕」のほか「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。

② 施工計画書等 (共1.2.2)
 工事契約後速やかに、工程表、施工計画書、仮設計画書等(周辺対策を含む)を作成し、監督職員の承認を得ること。なお、施工計画書には次の内容を含むものとする。
 (1) 分別解体計画
 (2) 再生資源利用計画・促進計画
 (3) 廃棄物処理計画

3 杭の解体 (共3.8.2)
 杭の解体方法
 ・ 引抜き工法
 ・ 破砕

④ 地下埋設物・埋設配管等 (共3.9.1)
 解体範囲内の設備機器等の撤去も本工事に含む

⑤ 樹木等 (共3.10.1)
 樹木等の伐採方法及び移植の方法は図示による

⑥ 整地等 (共3.11.1)
 整地 ※ 現場発生土 ・ 搬入土(種別等は図示) ・ ()
 工事完了後の安全対策等(立ち入り禁止等の措置)
 ※ 行方(方法等 ※ 図示 ・ ())
 ○ 行わない

④ 建設副産物の処理

① 建設リサイクル法
 ○ 対象建設工事
 対象建設工事を受注予定の業者は、特定建設資材に係る分別解体等に関する省令で定める様式第1号及び別表1~3のうち当該工事に該当する別表、工程表を作成し、契約締結前に契約担当者等に提出、説明するものとする。

対象建設工事	対象建設工事の種類		規模の基準	
	建築物の解体	建築物の新築・増築	床面積の合計	80㎡以上
建設工事	建築物の修繕・修繕等(リフォーム等)		床面積の合計	500㎡以上
	建築物以外のものの解体・新築等(土木工事等)		積込代金の額	1億円以上
			積込代金の額	500万円以上

・ 対象外建設工事
 再生資源化等報告書の提出
 ○ 提出する
 特定建設資材廃棄物の再生資源化が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、報告書を提出すること。
 ・ 提出しない

② 発生材の処理等 (共1.3.10)
 ・ 引抜きを要するもの ()
 (共4.4.1)
 ・ 現場で再利用を図るもの ()
 (共4.4.1)
 ※ 再生資源化を図るもの
 ※ コンクリート ※ アスファルト・コンクリート
 ※ コンクリート及び鉄から成る建設資材
 ※ 木材 処理方法(※ 破砕 ・ 輸送)
 ※ 金属類
 ※ 小形二次電池
 ・ ()

③ 特別管理産業廃棄物等 (共5.1.1)~(共5.5.5)
 ・ 特別管理産業廃棄物(・ 廃石綿等 ())
 受入れ施設名() 距離(km)
 ○ PCB含有製品の処理
 電気照明等PCBを含有する機器は、当該部分を取り外して鉄箱に納め、所定の表示を行い、監督職員の指示に基づき監督職員に引き渡すこと。(鉄箱は受注者負担)

⑥ アスベスト含有建材の除去等

① アスベスト含有分析 (共6.1.3)
 ・ 行方(下表による) ○ 行わない (共6.1.3)

材料名	調査方法	1材料あたりの試験数	
		※ 3	()
	JIS A1481		
	※ X線分析		
	()		

2 アスベスト含有吹付け材の除去工事 (共1.1.3)
 大気汚染防止法第18条の15による届出(特定粉じん排出等作業の届出)
 ・ 要 ・ 不要
 労働安全衛生法第88条第4項による計画の届出(吹付けアスベストの建設工事届出)
 ・ 要 ・ 不要
 石綿障害予防規則第5条第1項による作業の届出
 ・ 要 ・ 不要

アスベスト粉じん濃度測定 (共6.1.4)
 ※ 行方 測定点の数()箇所
 測定の時期及び測定場所はあらかじめ監督員と協議し、施工計画書に記載する。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選任、管理
 産業廃棄物処理法第12条の2第6項により特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理させる。

作業主任者の選任、管理 (共6.2.2)
 石綿障害予防規則第19条により石綿作業主任者を選任し、必要な管理を行わせる。なお、作業主任者は、アスベスト含有吹付け材除去工事又は別記工事の実績を有する者とし、資格証明書等の写しに工事履歴書を添付して監督職員に提出すること。

3 アスベスト含有保温材等の除去工事 (共1.1.3)
 大気汚染防止法第18条の15による届出(特定粉じん排出等作業の届出)
 ・ 要 ・ 不要
 石綿障害予防規則第5条第1項による作業の届出
 ・ 要 ・ 不要

アスベスト粉じん濃度測定 (共6.1.4)
 ・ 行方 測定点の数()箇所
 ・ 行わない
 測定の時期及び測定場所はあらかじめ監督員と協議し、施工計画書に記載する。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選任、管理
 産業廃棄物処理法第12条の2第6項により特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理させる。

作業主任者の選任、管理 (共6.2.2)
 石綿障害予防規則第19条により石綿作業主任者を選任し、必要な管理を行わせる。なお、作業主任者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監督職員に提出すること。

④ アスベスト含有成形板の除去工事 (共6.1.4)
 アスベスト粉じん濃度測定 (共6.1.4)
 ・ 行方 測定点の数()箇所
 ○ 行わない
 測定の時期及び測定場所はあらかじめ監督員と協議し、施工計画書に記載する。

作業主任者の選任、管理 (共6.2.2)
 石綿障害予防規則第19条により石綿作業主任者を選任し、必要な管理を行わせる。なお、作業主任者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監督職員に提出すること。

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

種類	厚さ(mm)	処理を行う範囲	備考
スレート製板	-	解体建物1、2、3、4:屋根	
スレート版	6.0	解体建物1:外壁	

① 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様等

種類	署名	除去を行う範囲	備考

④ 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様等

種類	署名	除去を行う範囲	備考

④ 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様等

種類	厚さ(mm)	処理を行う範囲	備考
スレート製板	-	解体建物1、2、3、4:屋根	
スレート版	6.0	解体建物1:外壁	

建設士事務所名 株式会社 ごとう計画・設計

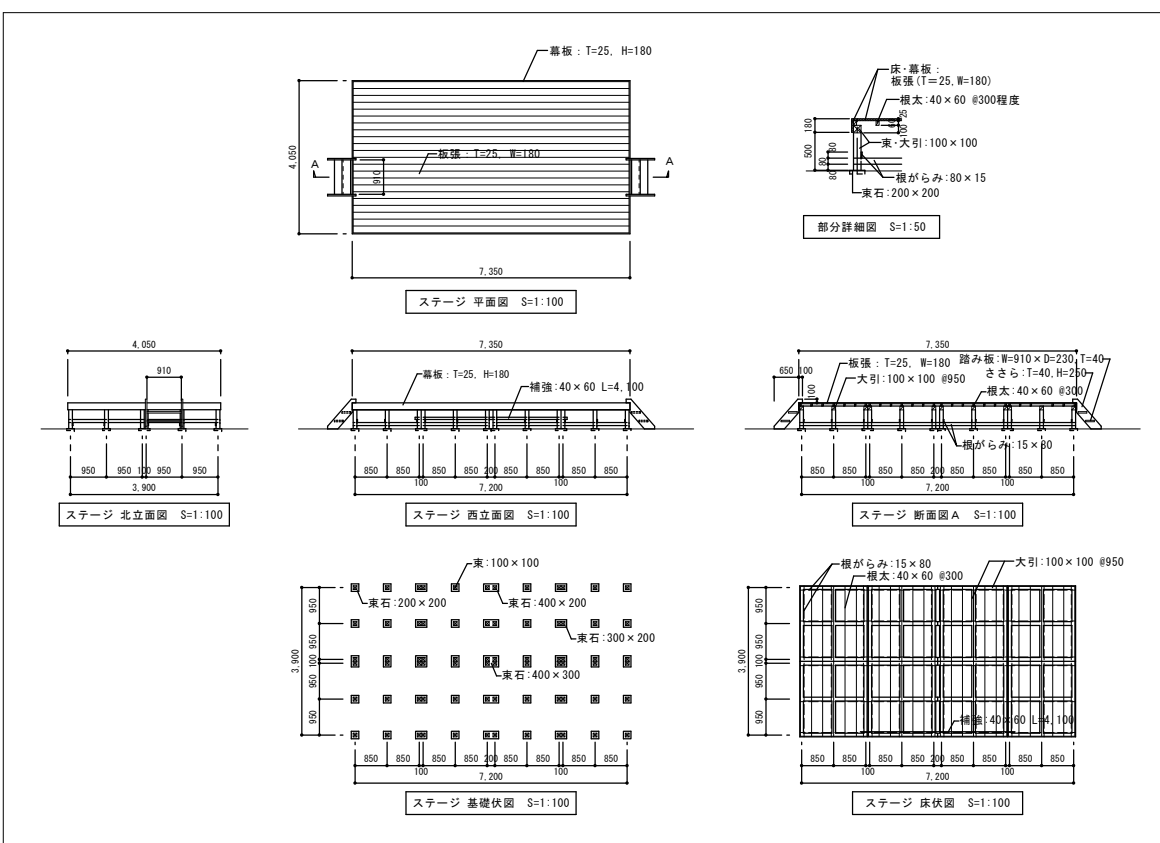
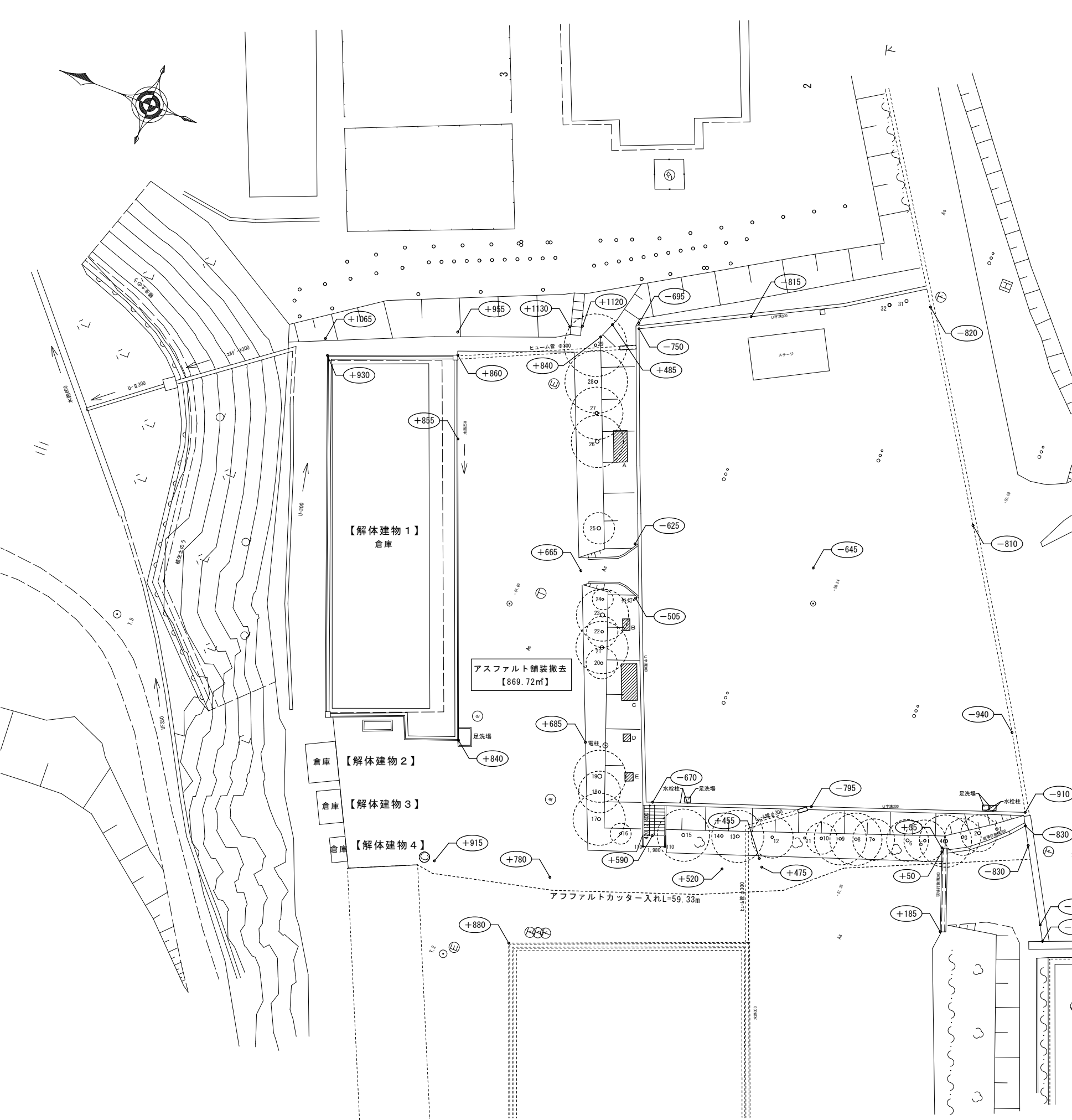
一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第G-1080 号 一級建築士登録 第 310283 号

工事名称 向陽の里新棟/建設工事

図面名称 解体工事特記仕様書

図面番号 C-001

検図



既存植込みリスト

No.	樹種	幅	奥行	高さ
A	ツツジ	3,000	1,300	1,000
B	ツツジ	1,100	700	800
C	ツツジ	3,500	1,500	1,000
D	ツツジ	700	800	700
E	ツツジ	800	800	700

その他

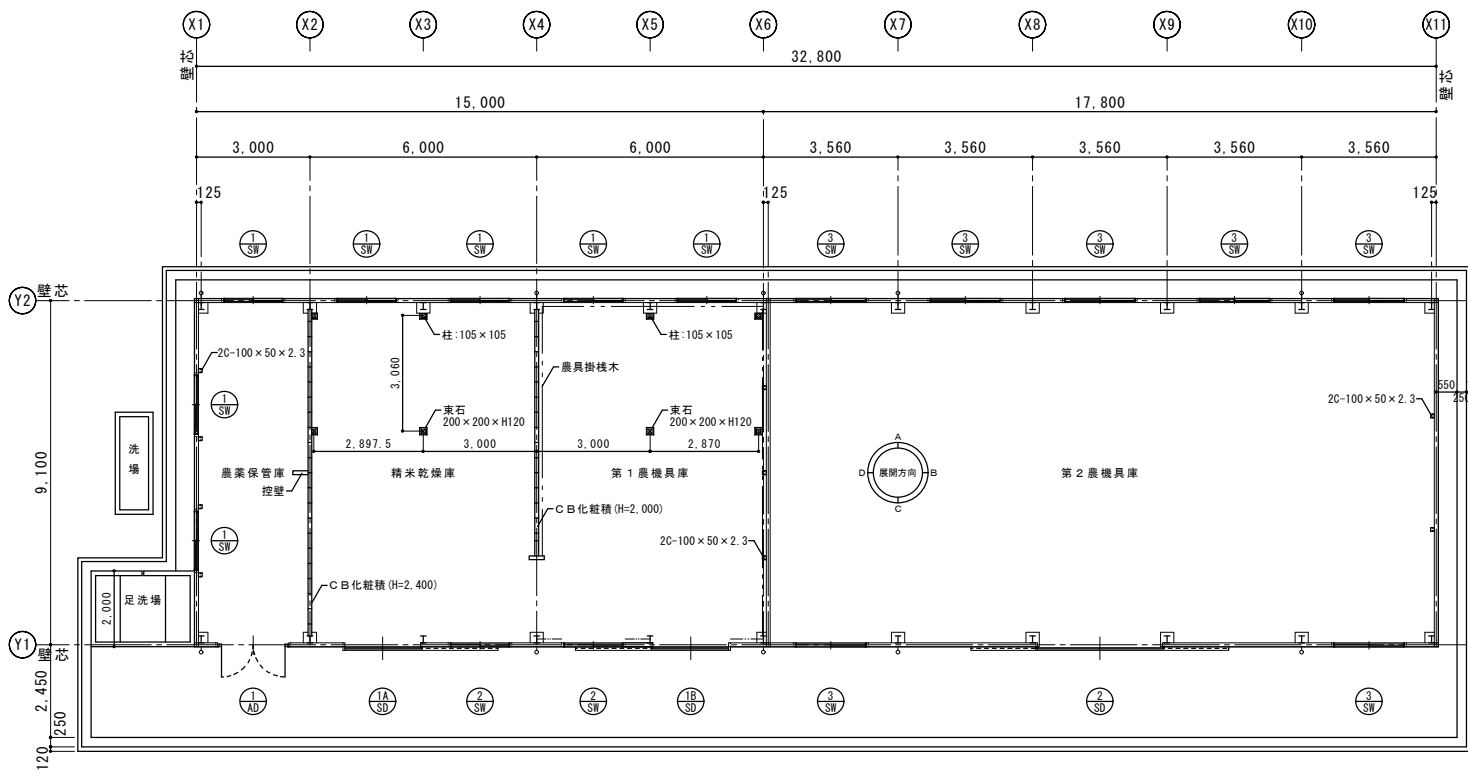
外灯	鋼製 100×100×H=4,000	1ヶ所
電柱	木製 110Φ×H=4,000	1ヶ所
水栓柱	4ヶ所	
足洗場	塩ビ製 630×500×H=150	3ヶ所

既存樹木リスト №1~32: 抜根のこと

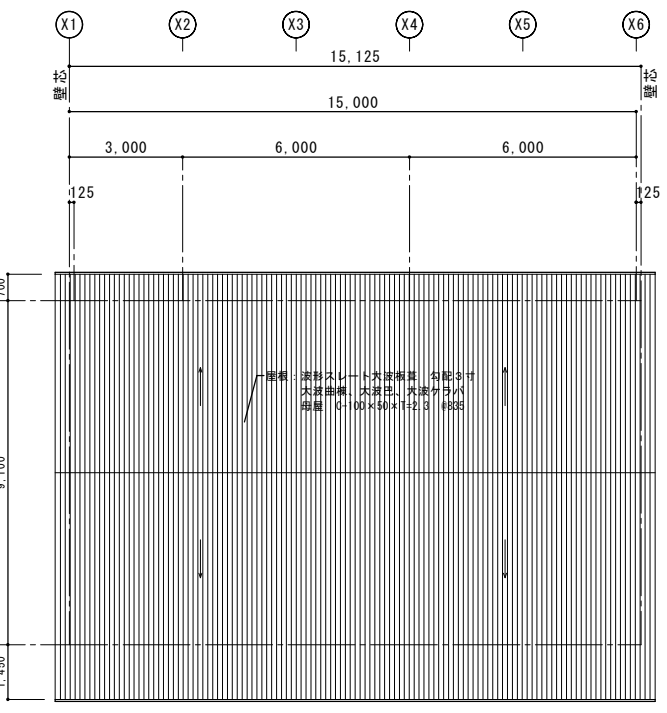
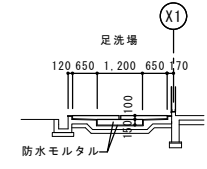
No.	樹種	幹径	高さ	葉張
1	切り株	250	-	-
2	モミジ	300	4,000	3,500
3	モミジ	250	4,000	3,500
4	モミジ	400	4,000	5,000
5	モミジ	250	2,000	4,000
6	モミジ	300	4,000	4,000
7	モミジ	200	4,000	4,000
8	モミジ	250	4,000	5,000
9	モミジ	250	4,000	3,000
10	モミジ	250	4,000	5,000
11	切り株	200	-	-
12	モミジ	250	2,500	4,000
13	モミジ	300	4,000	5,000
14	切り株	250	-	-
15	モミジ	300	4,000	5,000
16	モミジ	200	3,000	2,000
17	モミジ	300	5,000	5,000
18	モミジ	250	3,000	4,000
19	モミジ	400	3,000	5,000
20	モミジ	250	2,500	3,000

No.	樹種	幹径	高さ
21	モミジ	350	5,000
22	モミジ	250	4,000
23	モミジ	400	5,000
24	モミジ	200	3,000
25	モミジ	350	3,000
26	モミジ	300	4,000
27	モミジ	300	4,000
28	モミジ	300	4,000
29	モミジ	250	4,000
30	落葉樹	400	15,000
31	杉	400	15,000
32	楓	300	10,000
33	樺	350	30,000

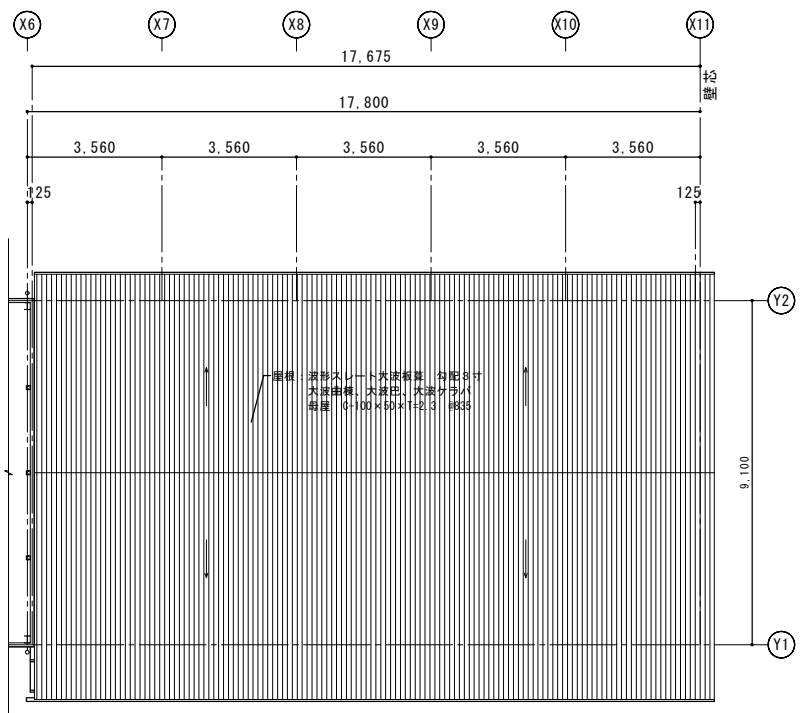
駐車場



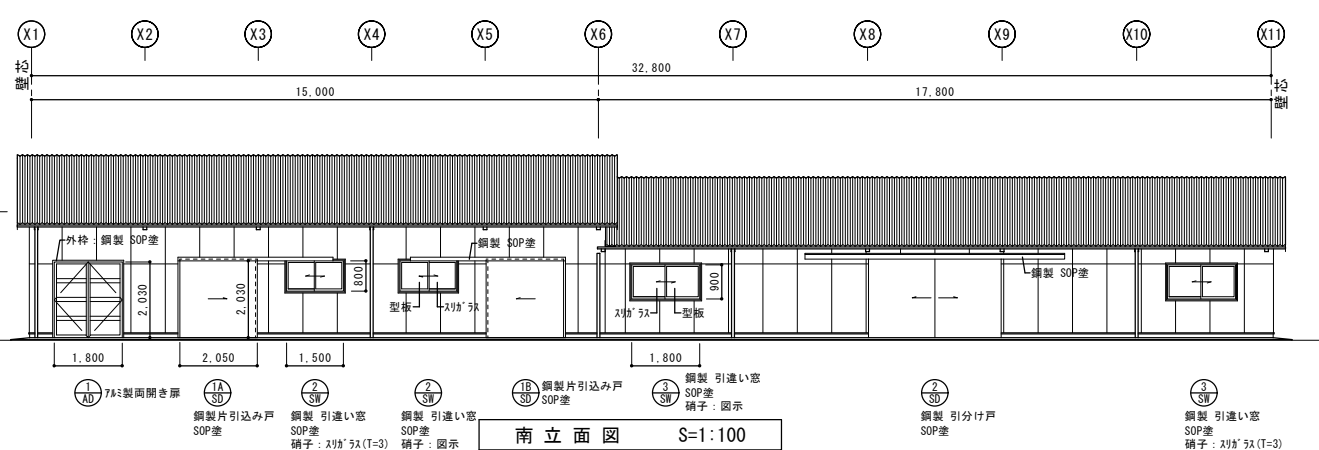
【解体建物1】平面図 S=1:100



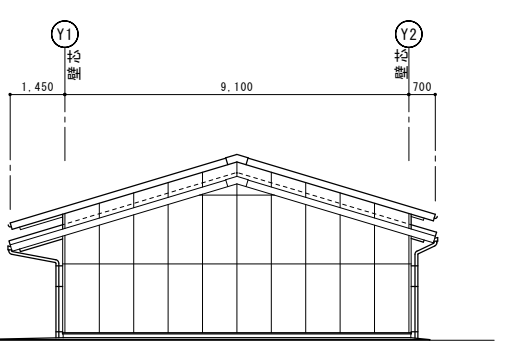
【解体建物1】屋根伏図1(上段) S=1:100



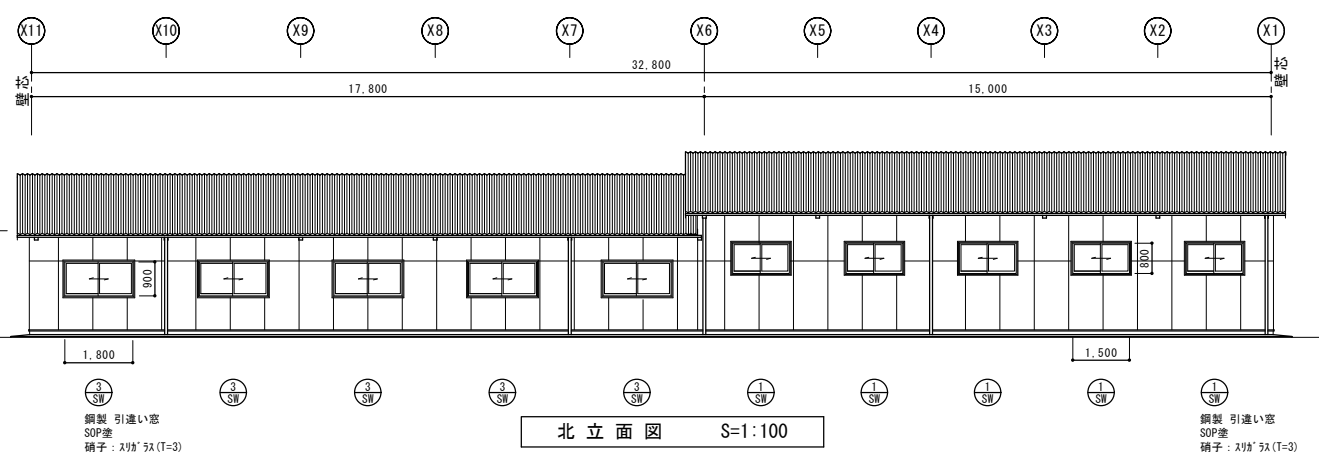
【解体建物1】屋根伏図1(下段) S=1:100



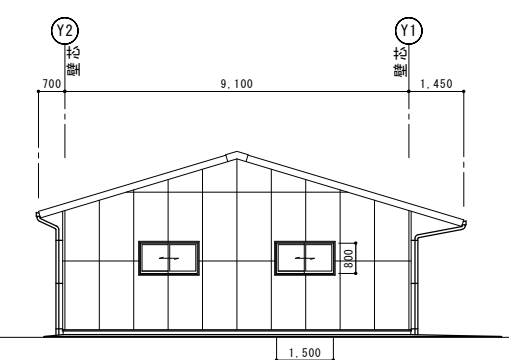
南立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100



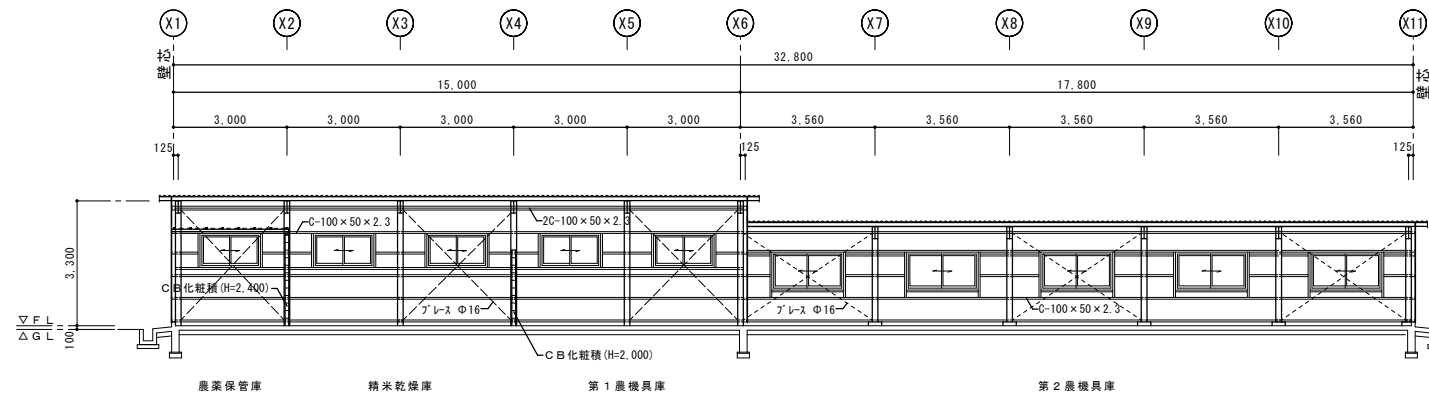
西立面図 S=1:100

【解体建物1】外部仕上表

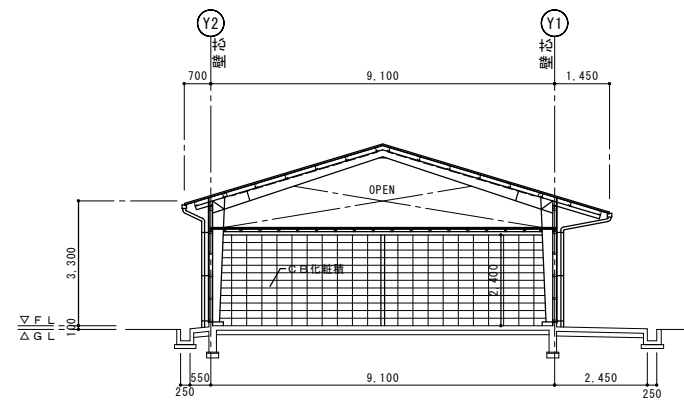
部位	仕上
床・犬走	コンクリート同時金ゴテ押え
巾木	コンクリート下地、モルタル塗
外壁	鉄骨下地組 C-100×50×20 T=2.3 @835 SOP塗 スレート板(T=6)張(目地ジョイナー使用)、アクリル系リシン吹付 水切金物:鋼製 T=1.2 SOP塗
屋根	波形スレート大波板葺 勾配3寸 大波曲線、大波巴、大波ケラバ 母屋 C-100×50×T=2.3 @835 SOP塗
軒裏	波形スレート板 現し
柱	軒柱:硬質塩ビ製 カラー、支持金物 SUS製 壁柱:硬質塩ビ製75φ カラー、支持金物 SUS製 @1.200以内

内部仕上表

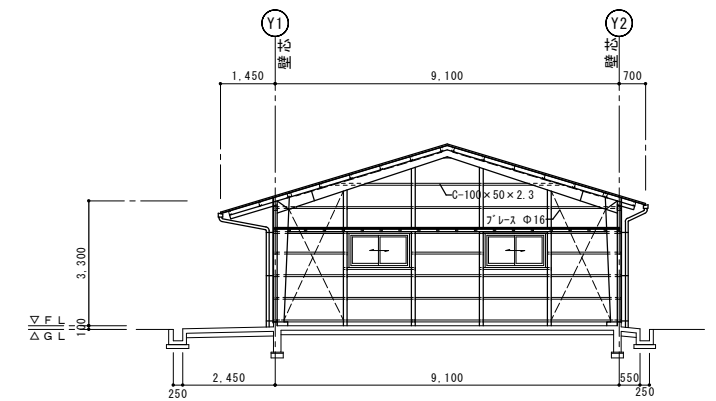
部位	仕上
床	コンクリート同時金ゴテ押え
巾木	コンクリート下地、モルタル塗
壁	壁:鉄骨下地組 C-100×50×20 T=2.3 @835 SOP塗 現し スレート板(T=6)張(目地ジョイナー使用) 間仕切:C/B化粧積
天井	波形スレート板 現し 梁・母屋 C-100×50×T=2.3 @835 SOP塗
その他	農業保管庫 格子天井:詳細図による 精米乾燥庫・第1農機具庫 木製棚:詳細図による 第1農機具庫 農具掛枝:詳細図による



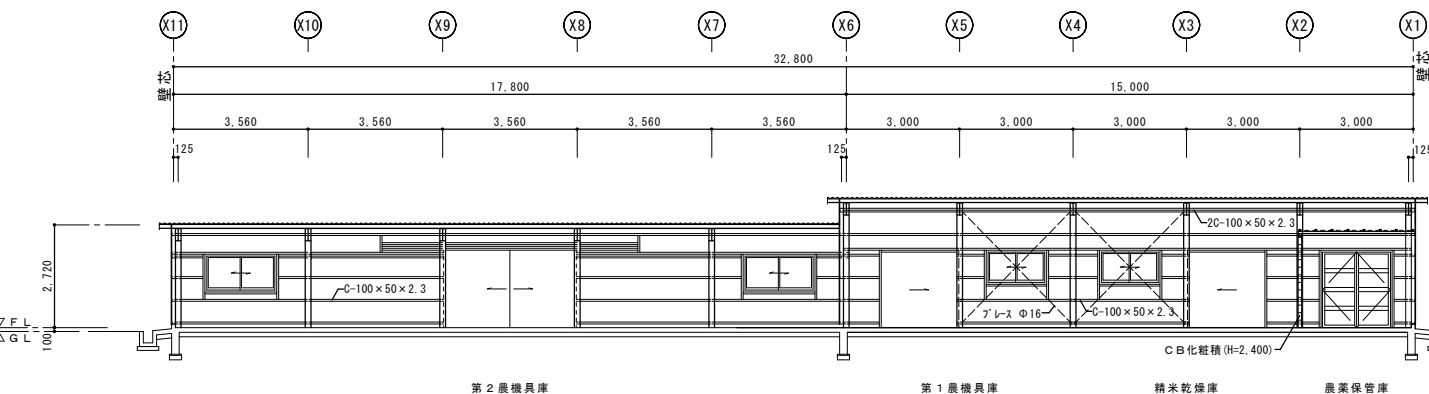
断面展開図 A S=1:100



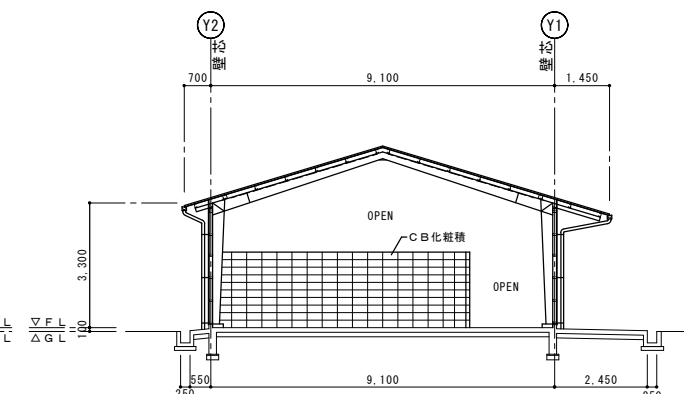
農業保管庫 展開図 B S=1:100



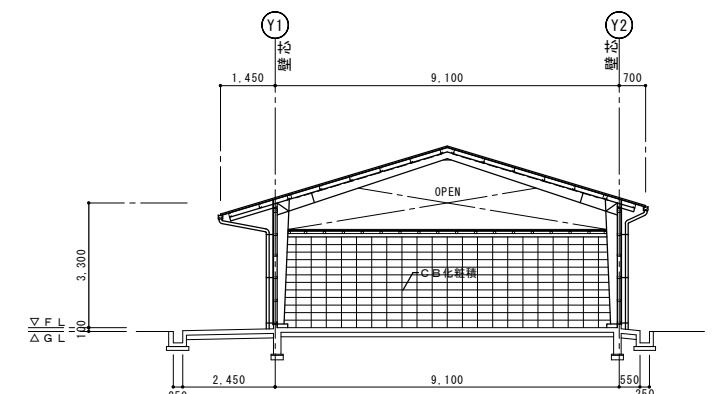
農業保管庫 展開図 D S=1:100



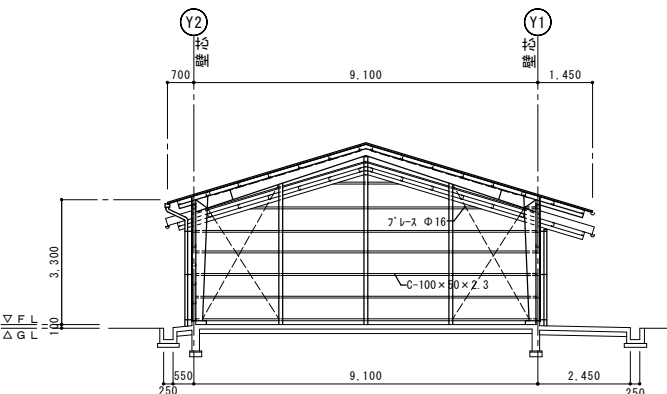
断面展開図 C S=1:100



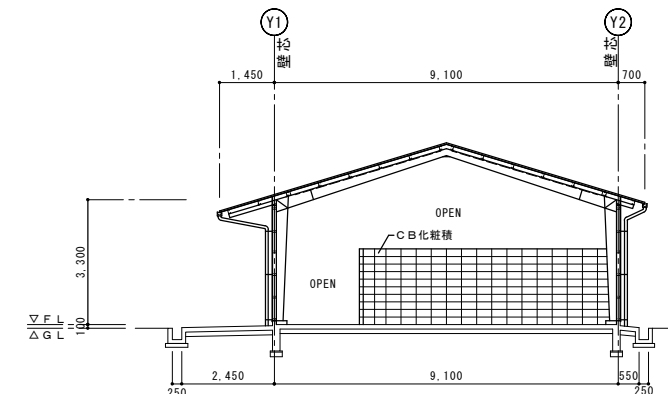
精米乾燥庫 展開図 B S=1:100



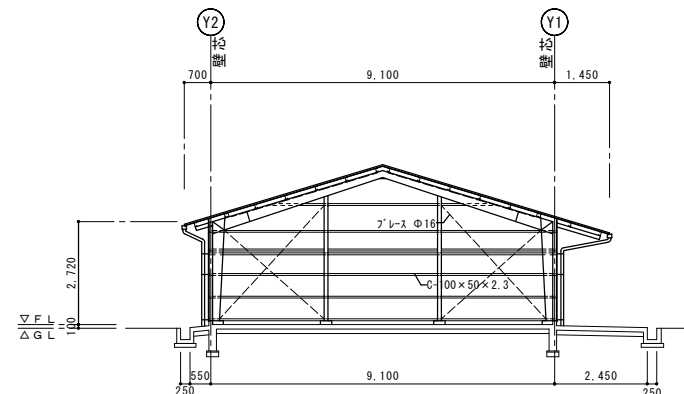
精米乾燥庫 展開図 D S=1:100



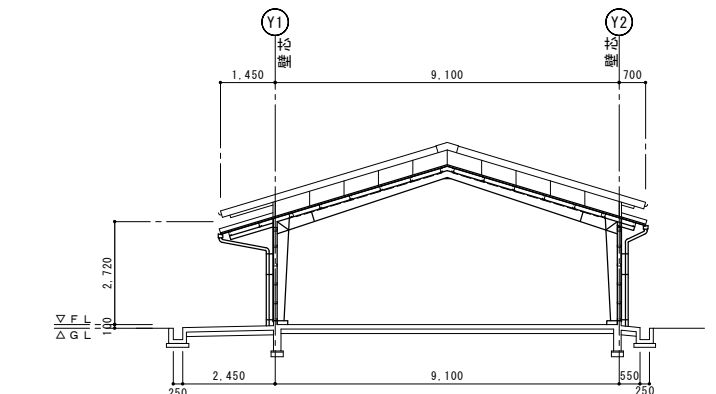
第1農機具庫 展開図 B S=1:100



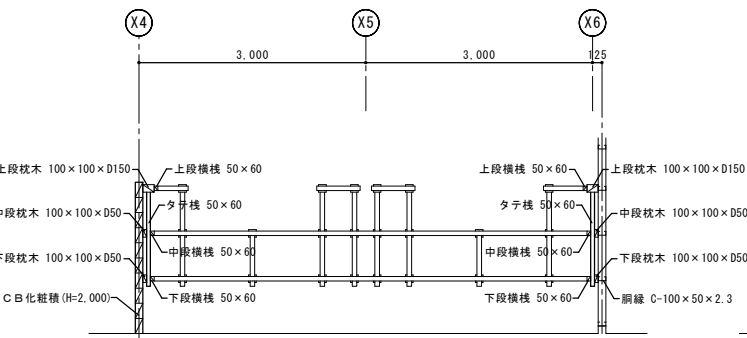
第1農機具庫 展開図 D S=1:100



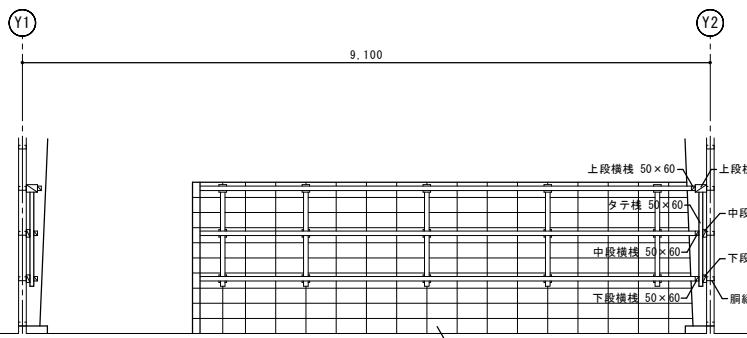
第2農機具庫 展開図 B S=1:100



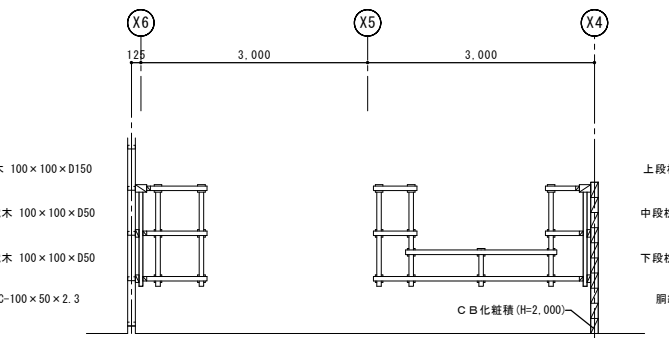
第2農機具庫 展開図 D S=1:100



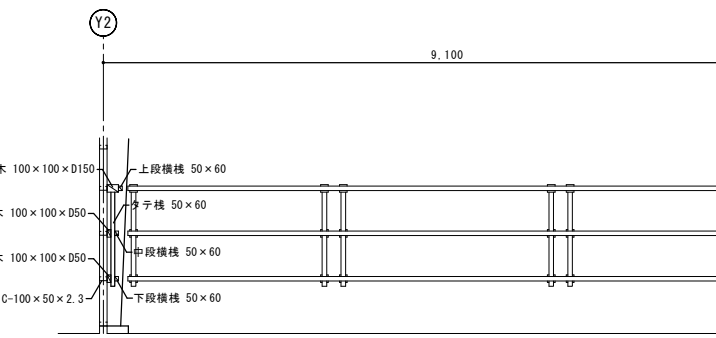
農具掛棧木 展開図 A S=1:50



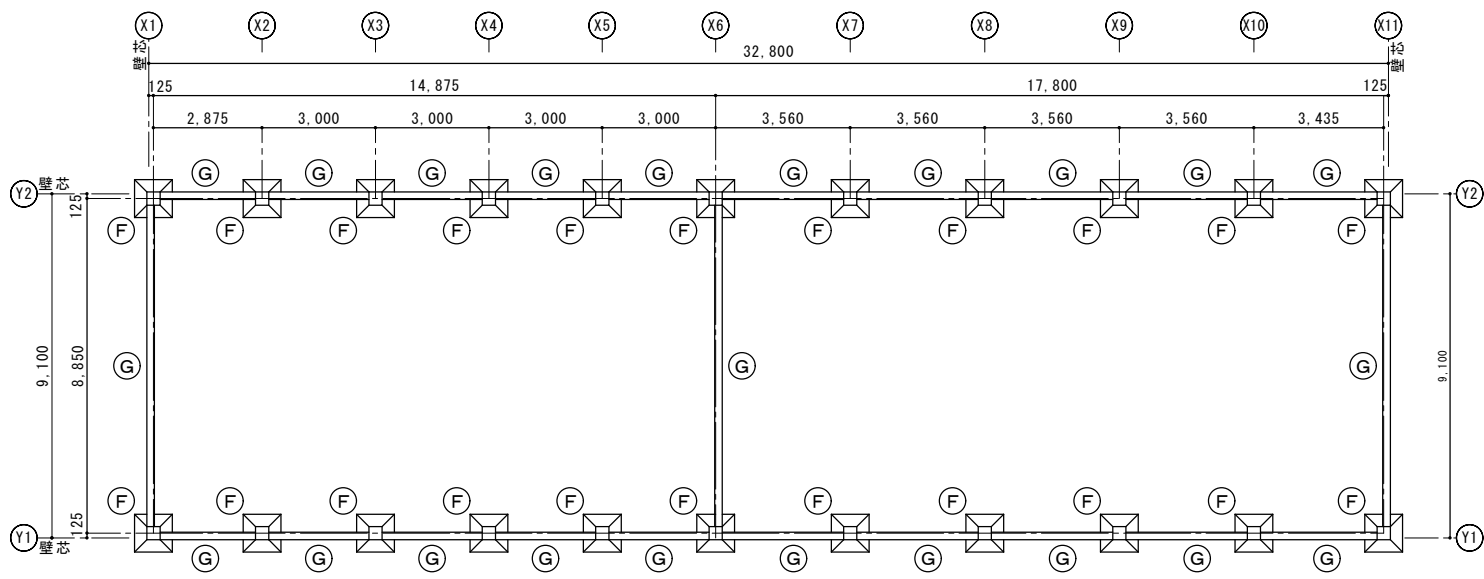
農具掛棧木 展開図 B S=1:50



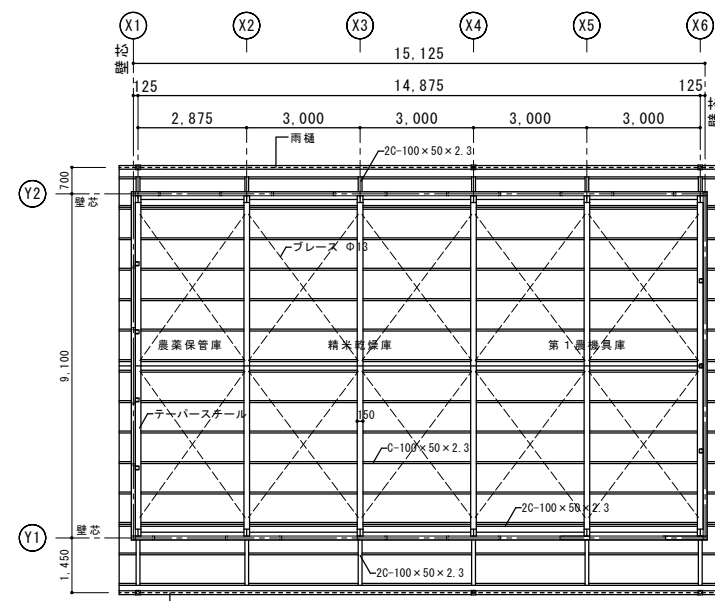
農具掛棧木 展開図 C S=1:50



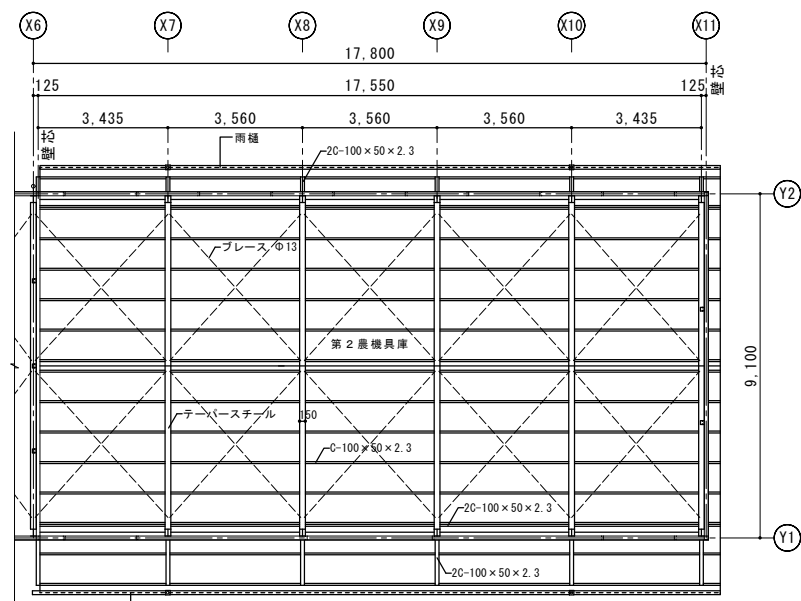
農具掛棧木 展開図 D S=1:50



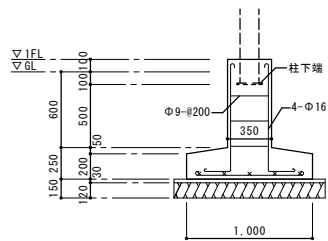
基礎伏図 S=1:100



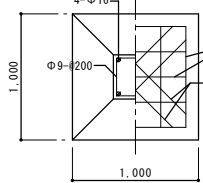
天井伏図 1 (上段) S=1:100



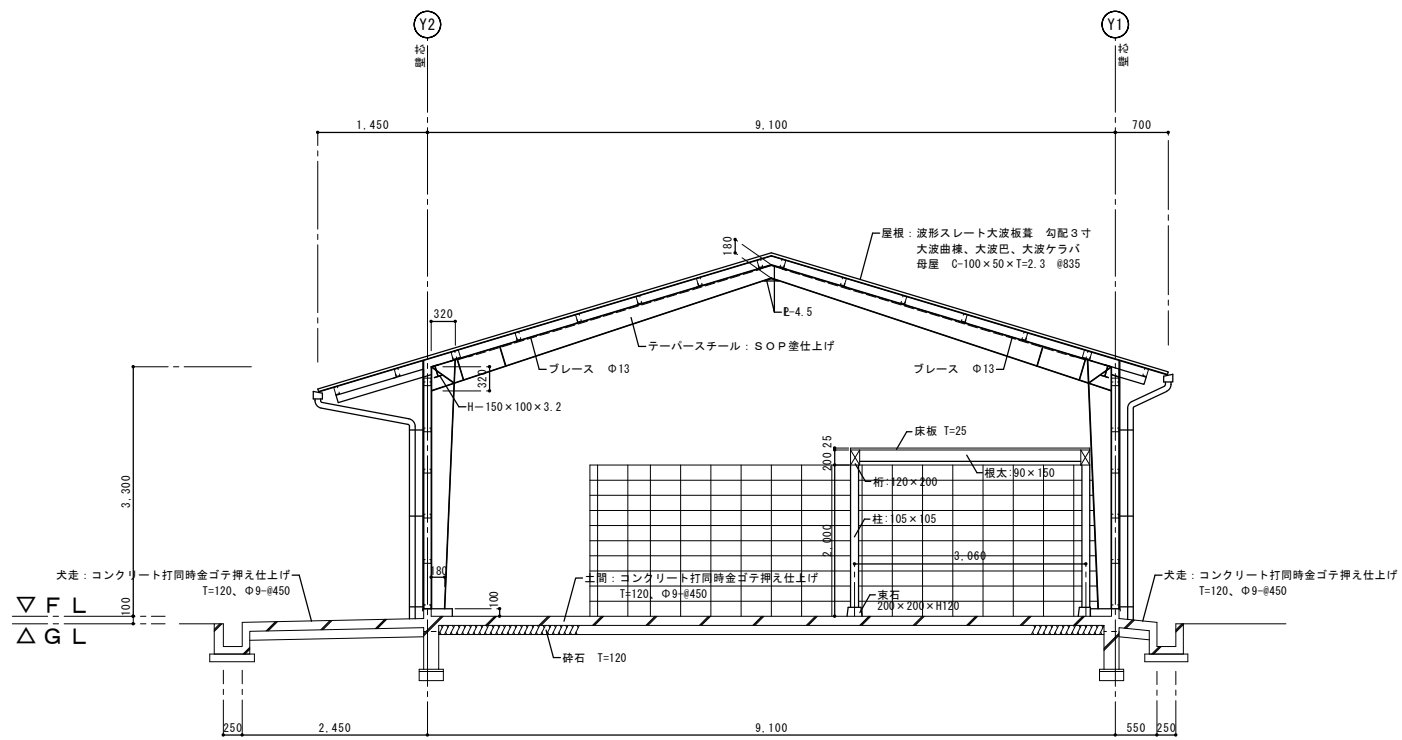
天井伏図 2 (下段) S=1:100



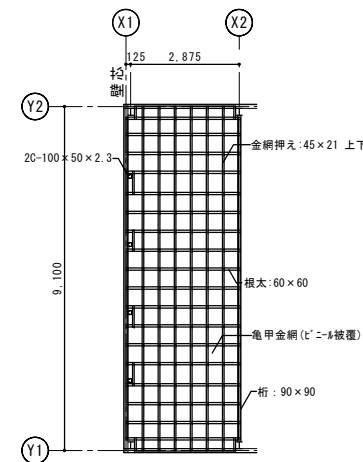
(F) 配筋詳細図 S=1:30



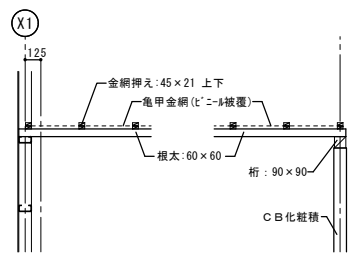
(G) 配筋詳細図 S=1:30



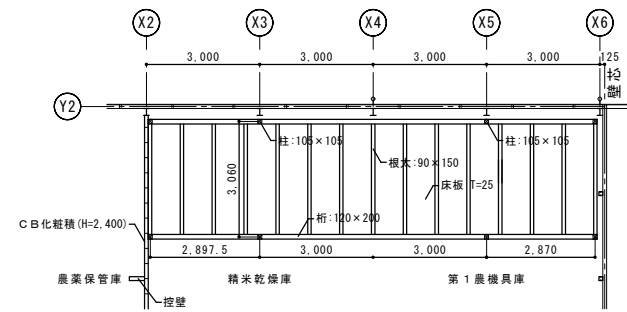
断面詳細図 S=1:50



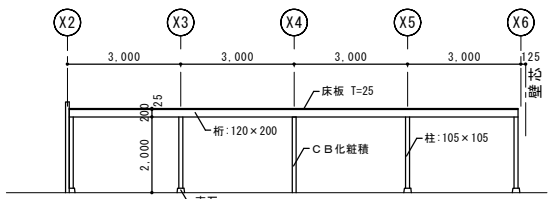
格子天井 見下げ図 S=1:100



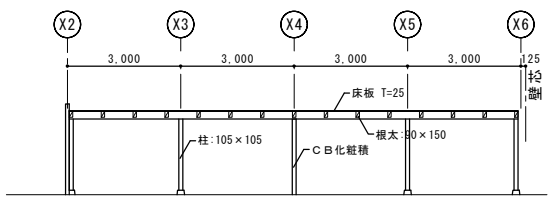
格子天井 断面詳細図 S=1:30



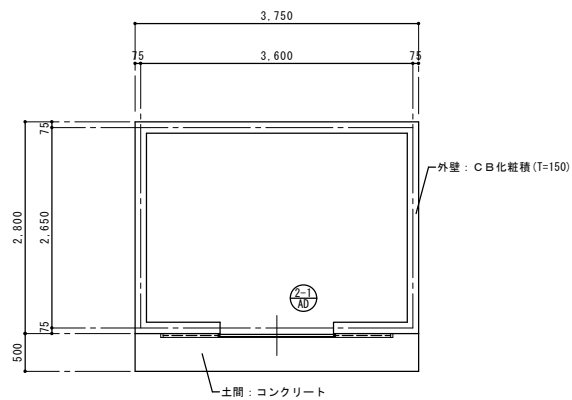
木製棚 見上げ図 S=1:100



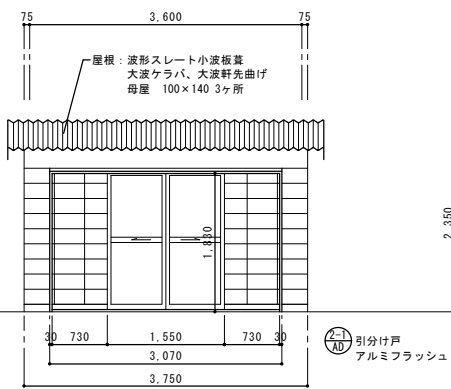
木製棚 姿図 S=1:100



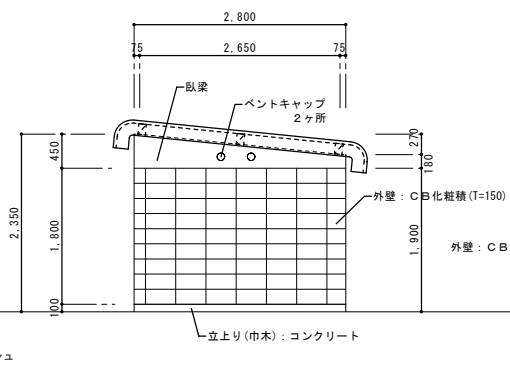
木製棚 断面図 S=1:100



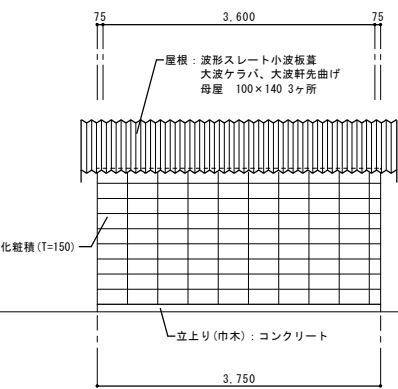
【解体建物2】 平面図 S=1:50



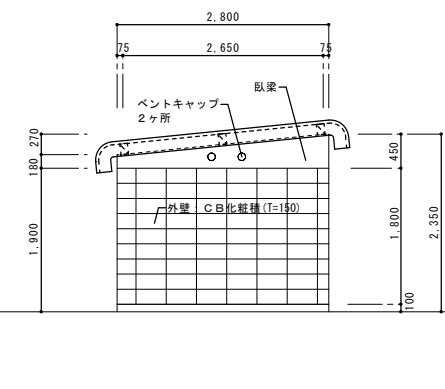
【解体建物2】 南立面図 S=1:50



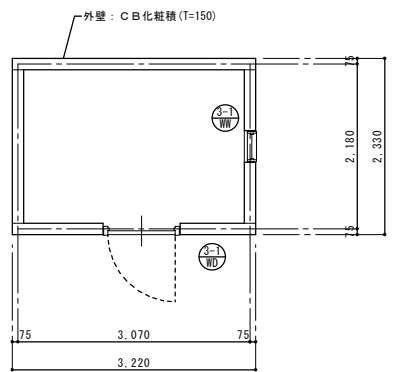
【解体建物2】 東立面図 S=1:50



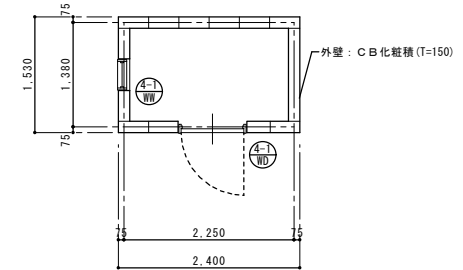
【解体建物2】 北立面図 S=1:50



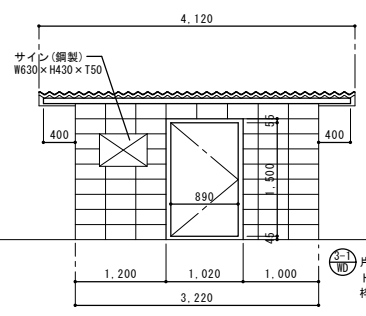
【解体建物2】 西立面図 S=1:50



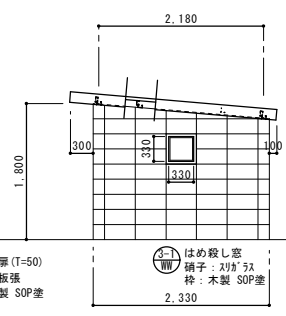
【解体建物3】 平面図 S=1:50



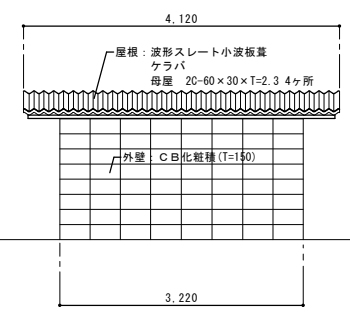
【解体建物4】 平面図 S=1:50



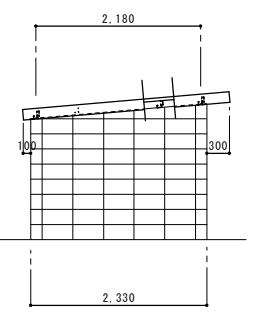
【解体建物3】 南立面図 S=1:50



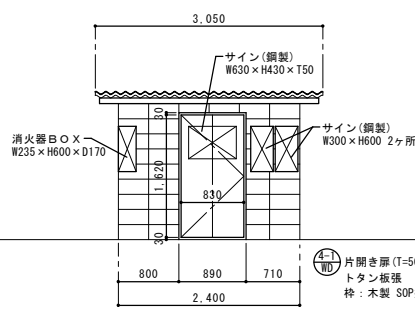
【解体建物3】 東立面図 S=1:50



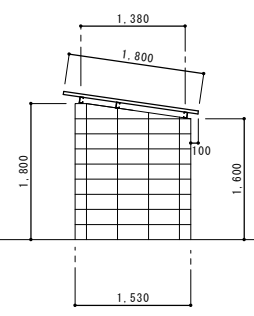
【解体建物3】 北立面図 S=1:50



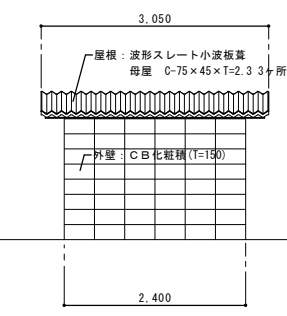
【解体建物3】 西立面図 S=1:50



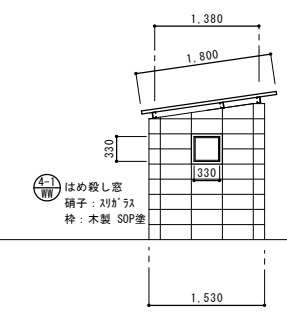
【解体建物4】 南立面図 S=1:50



【解体建物4】 東立面図 S=1:50



【解体建物4】 北立面図 S=1:50



【解体建物4】 西立面図 S=1:50